

我が国における履修証明(Certificate)の推進について

アメリカにおける履修証明

- 主に正規学生以外の者を対象として、あらかじめ設定されている一定の科目群を履修したことを証明するもの。
- 各大学が社会からのニーズに応じて、それぞれ独自にプログラムを開発・提供しつつ発展してきたため、内容、レベル、期間とも極めて多様。

典型的なモデル

- フルタイムで半年間(1セメスターで15単位程度)の学修がひとまとまり。
- 専任のディレクターによりコーディネート、管理された科目群を提供。
- プログラムの内容、目的に応じて既存の授業科目と特別の授業科目とを組み合わせつつ提供。既存科目については学位取得単位として使用可能。
- 質の保証は学内組織で担保。(ただし資格制度と連動している場合は、州政府や職能団体によるチェックを受ける場合もある。)

我が国での普及のためには

- ①各大学におけるプログラム開発の促進
→「社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」により、社会人の再就職・キャリアアップを目的とした半年～1年程度のプログラム開発を重点的に支援。

- ②制度的位置づけの明確化の検討
→法令上の根拠を設け、社会的信用性を付与。
(多様なプログラムの開発を促すため、法令上は大枠のみを規定。)

- ③各種資格制度との連携
→各種資格制度における取得要件や更新要件への位置づけの促進。

- ④企業等のニーズの把握
→企業等へのニーズ調査の実施。
→企業等とのプログラムの共同開発の推進。